



設立 50 周年を祝って

倶知安消防協力会

会長 笹山 武市

倶知安町防火管理者連絡協議会が設立50周年という記念すべき節目の年を迎えられ、ここに記念誌を発刊され、その歩みを振り返り、未来への発展に繋ぐ糧とされますことは、誠に意味深いものであり、心からお祝い申し上げます。

併せて、設立以来、倶知安町内各事業所の防火管理・安全とその振興発展のために献身的な御努力をされました歴代会長をはじめ役員の方々並びに関係各位のご苦勞に対しまして、深く敬意を表すると共に心から感謝申し上げます。

これまでの50年を振り返りますと、防火管理を取り巻く環境は大きく変化しており、昨今の海外客でにぎわうニセコエリアは国際的スキーリゾートとして、新しいスタイルの宿泊施設、飲食店など多様化していく中、防火防災の研究や避難訓練などにご尽力を頂いた結果、ニセコエリアでは、死傷者が発生した大きな火災は、今日まではないと伺っております。あらためまして、感謝と敬意を表する次第でございます。

さて、今の日本は、東日本大震災以降毎年のように、甚大な被害をもたらす大きな自然災害に見舞われ、火災や事故、自然災害の様相は複雑多様かつ大規模化している状況です。道内においても昨年9月6日道内初の震度7の揺れを観測した「北海道胆振東部地震」が発生。各地で多数の死傷者を出し道内全域で「ブラックアウト」となりました。まさに想定外の大規模の災害であり、記憶と記録にも残しておかなければならない出来事でした。今後、自然災害に立ち向かい、どう向き合っていくのか考えさせられるところでもあります。

消防協力会といたしましても、消防防災機関等に対する活動を支援しながら一体となった防火防災の思想の普及に努めて参りたいと考えております。結びに、このたびは、平成を締めくくる記念誌であり新たな年号のもと出発の年でもあります。歴史と伝統のある倶知安町防火管理者連絡協議会がより一層のご発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。